

歯科材料 2 歯冠材料
管理医療機器 歯科加圧成形用セラミックス (70806020)
(歯科用陶材 (70801000)、歯科セラミックス用着色材料 (70823000)、歯科メタルセラミック修復用陶材 (70802000)、
歯科接着用レジンセメント (70836002)、一般医療機器: 歯科技工用セラミックス表面処理材料 (70918000)、
歯科高温鋳造用埋没材 (70900020)、歯科用樹脂系模型材 (34811000)、歯科用充填・修復材補助器具 (38782000))

オプトラスティックは再使用禁止

IPS e.max トライアルキット

【禁忌・禁止】

各製品の成分に対して過敏症状を有する患者には、
使用しないこと。
オプトラスティックは再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

[構成]

- (1) IPS e.max プレス [歯科加圧成形用セラミックス、管理医療機器、認証番号:220AGBZX00010000]
- (2) IPS e.max セラム [歯科用陶材、管理医療機器、認証番号:220AGBZX00080000]
- (3) IPS スタイル [歯科メタルセラミック修復用陶材、管理医療機器、認証番号:229AGBZX00072000]
- (4) IPS イボカラー [歯科セラミックス用着色材料、管理医療機器、認証番号:228AGBZX00117000]
- (5) バリオリンク エステティック [歯科接着用レジンセメント、管理医療機器、認証番号:227AGBZX00001000]
- (6) スピードセム [歯科接着用レジンセメント、管理医療機器、認証番号:221AGBZX00208000]
- (7) IPS e.max プレス インベックスリキッド [歯科技工用セラミックス表面処理材料、一般医療機器、届出番号:13B1X10049IV0032]
- (8) IPS プレスVESTプレミアム [歯科高温鋳造用埋没材、一般医療機器、届出番号:13B1X10049IV0043]
- (9) IPS ナチュラル ダイマテリアル [歯科用樹脂系模型材、一般医療機器、届出番号:13B1X10049IV0002]
- (10) オプトラスティック [歯科用充填・修復材補助器具、一般医療機器、届出番号:13B1X10049IV0010]

本品は歯科修復物を製作するためのプレスセラミックスとその関連製品のキットである。製品の組み合わせによって同梱されない製品があり、同梱されている製品のリストは直接の被包に記載してある。

【使用目的又は効果】

セラミックス製歯科修復物または補綴物の製作、装着に用いる材料および器具のセット。

本キットはセラミックス製の最終補綴物を口腔内に設置するのに必要な材料と器具を含んだキットである。歯科加圧成形用セラミックスで修復物を製作するため、歯科加圧成形用セラミックスを埋没し、プレスする歯科高温鋳造用埋没材、歯科樹脂系模型材で色調を確認し、歯科メタルセラミック修復用陶材と歯科用陶材で修復物の色調及び形態を補正し、歯科セラミックス用接着材料で接着する。患者の口腔内に設置するため、歯科技工用セラミックス表面材料でセラミックスの接着面を荒らし、歯科用充填・修復材補助器具で修復物を保持し、歯科接着用レジンセメントで接着する。本キットはセラミックス製の最終補綴物を製作するための切削器具、焼成炉等の大型機器を除いた必要材料・器具の組み合わせである。

【使用方法等】

1. 準備

- 1) 支台歯模型または金属修復物上にワックスアップし、解剖学的形態を回復する。

2. 埋没

- 1) スプルーを植立した修復物をIPS e.max プレス インベストリングシステムの上部にスプルーイングし、スプルーガイドで角度を確認する。IPS e.max プレス Multiインゴットを使用する場合は、専用のMultiワックスパターンを使用して、Multiインベストメントリングシステムに植立し、Multiスプルーガイドでスプルーの位置を確認する。
- 2) IPS プレスVESTプレミアムを使用し、埋没を行う。

3. プレス

- 1) IPS e.max プレスAloxプランジャーにIPS e.max プレスAlox プランジャー セパレーターを塗布する。(Aloxプランジャーを直接Alox プランジャー セパレーターの容器につける。)
- 2) プレスファーンエスの電源を入れ、スタンバイ温度にする。
- 3) プレスプログラムを選択し、IPS e.max プレス インベストメントリングのサイズを選ぶ。
- 4) 歯の色調、大きさに合ったIPS e.max プレスのインゴットを印字されている面を上にして、焼却ファーンエスで予備加熱したインベストメントリングに入れる。
- 5) IPS e.max プレス Aloxプランジャー セパレーターでコーティングしたIPS e.max プレス Aloxプランジャーをインベストメントリングに入れる。IPS e.max プレス Multiインゴットの場合、IPS e.max プレス Multi インゴット、IPS e.max プレス Multi ワンウェイプランジャー、IPS e.max プレス AloxプランジャーをIPS e.max プレス インベストメントリングに入れる。
- 6) IPS e.max プレス インゴット、IPS e.max Aloxプランジャーを入れたインベストメントリングをリングトングではさみ、プレスファーンエスの中心部にセットし、焼成プログラムを開始する。

4. 掘り出し

- 1) 冷ましたIPS e.max プレスインベストメントリングに、IPS e.max プレス Alox プランジャーの長さに合わせて印をつけ、ディスクで分割する。
- 2) プラスターナイフで完全に切り離す。
- 3) ガラスビーズを4気圧でブラスティングし、大まかな掘り出しを行う。
- 4) 掘り出しの際、修復物を破損しないよう適度な距離を保ち、慎重に除去すること。IPS e.max プレス Aloxプランジャーに付いているセラミックス残留物はアルミナで除去する。

5. 反応層の除去

- 1) 入念に埋没材を除去後、圧入時に形成された反応層をIPS e.max プレス インベックスリキッドを使用し超音波洗浄して、1〜2気圧のアルミナでブラスティングする。

6.フィニッシュイング

- 1) 部分的に濡らしながら、ダイヤモンドディスクを使用して、スプルーを切断する。セラミックス材の部分的な過熱を防ぐために、低速、低圧で研磨する。
- 2) スプルーの接続面を滑らかにする。
- 3) プレスした修復物を支台歯にセットする前にスパーサーを取り除く。支台歯にフレームを置き、慎重に調整する。亀裂の原因となり、オールセラミックス修復物の安定性を損なう場合があるので、仕上げ後も最低限の厚みを保つこと。
- 4) 必要に応じてIPS ナチュラル ダイマテリアルで支台歯の色調を再現する。
- 5) 陶材を築盛する前に、アルミナを使用して1気圧でブラスティング後、流水またはスチーマーで清掃する。ブラスティング器具により、気圧が異なる場合があるので注意すること。

7. 築盛および焼成

- 1) 修復物の形状や部位に応じてIPS e.max セラム、IPS スタイルまたはIPS イボカラーから陶材を選択して築盛を行い、それぞれの焼成プログラムに従って、焼成トレイと焼成ピンを使用して焼成し、形態および色調の調整を行う。

8. 修復物の装着

- 1) 完成した修復物はオプトラスティック等で口腔内の修復箇所置き、バリオリック エステティックまたはスピードセムで接着する。

[使用方法に関連する重要な注意]

- ・プレス材を切削する際には、粉塵を吸引しないようにフェイスマスクおよび吸塵器を使用すること。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

1. フレームワークは、最小限の厚みを守ること。
2. 製造元が推奨するキャリブレーション済みのファーンネスを用いて焼成すること。

【保管方法及び有効期間等】

バイオリックエステティックの有効期間は24ヶ月

スピードセムは冷所保存 (2～8℃)

スピードセム以外の構成品は凍結を避け、2～28℃で保存

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent 株式会社

電話03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent AG (リヒテンシュタイン侯国)